

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

株式会社フィールズ

②施設・事業所情報

名称：きっずワン メイト保育園	種別：地域型保育事業
代表者氏名：四野見 直子	定員（利用人数）：21（18名） 名
所在地：〒251-0041 藤沢市辻堂神台2-2-44エルム湘南3F	
TEL：0466-54-8835	
ホームページ：https://kidsone.jp/	
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：2016/4/1	
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社コーストプラン	
職員数	常勤職員：4 名 非常勤職員：4 名
専門職員	（専門職の名称） 名
	保育士：8名 栄養士：1名
施設・設備の概要	（居室数）保育室：2
	（設備等）トイレ：3、調理室：1、事務室：1、園庭：なし

③理念・基本方針

子どもに快適な環境で十分な成長と発達を促すと共に、お仕事が忙しい中、家事・育児と頑張っている保護者の方をできるだけサポートする。一人ひとりのお子様を大切にお預かりし、子どもの目線にたち家庭的保育を目指し、「子ども主体」の保育を実現する。

（保育理念）

- ①共に遊び、学び、つながり、今を生きる
- ②子どもを愛し支え受け止める

（園目標）

- ①遊びを通して、思いやる心を育む
- ②よく食べて、元気な心と体を育む
- ③自分の思ったことを表現する力を育む
- ④自立していく喜びを育む
- ⑤明るく、素直で、前向きに生きる力を持つ

④施設・事業所の特徴的な取組

事業所内保育園より平成28年に小規模認可としてスタートしました。ワンフロアを廊下で区切り、左右2園（メイト保育園・フレンズ保育園）の小規模保育園を運営しています。メイト保育園は0歳児3名、1歳児6名、2歳児6名、さらに3歳児定員の弾力化があり6名の受け入れを行っており現在18名が在籍しています。園庭はないものの、園周辺にはたくさんの公園に恵まれている為、晴れていれば積極的に公園へお散歩に出かけ、夕方戸外に出て体を動かしています。また、給食もたくさんのおかわりができるように多めに作って提供できるようにしています。保護者に寄り添うことを基本に、登降園時には声をかけ園児の日常の様子その他、一番身近な相談役として育児や仕事などの悩みにじっくりと耳を傾け時間をかけて対話を重ねています。家庭的な保育への取り組みとして、担当制保育を取り入れ0歳児から1対1での食事や排泄、着脱等にじっくりと関われる保育環境を作り、自立に向けた援助を個々の発達に合わせて行っています。保護者参加型の行事を多く取り入れて実施しています。劇・イベントの企画等を職員一緒に考えながら「子どもたちが喜ぶ」行事を保護者の皆さんと作り上げています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和3年10月20日（契約日） ～ 令和4年4月8日 （評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	-回（ -年度）

⑥総評

◇特に評価の高い点

1)積極的な戸外活動

午前の保育内容は外遊びを中心として積極的に屋外へ出かけています。園庭はありませんが、近くにはさまざまな公園があり、午睡の後にも散歩に出かけ、体を動かしています。園はJR辻堂駅から徒歩数分の場所にあるため、駅に電車やバスを見に行く、公共施設へ遊びに行く、スーパーマーケットのイベント参加や、消防署に立ち寄って消防車を見たり、神社に行くなど、地域の人たちに接する機会、社会体験が得られる機会も多くあり、子どもの生活と遊びが豊かに展開されています。

2)丁寧な食育活動

プランターで米作り、夏野菜（トマト・オクラ・ナスなど）の栽培などで、子どもたちは楽しみながら食への興味関心を育んでいます。収穫した米はおせんべいにしてもらって食べました。夏野菜はスタンプ制作で使用しました。野菜の皮むき、ピザ、クッキーなどクッキングにも挑戦しています。時には給食をお弁当風に詰めてもらって、園のベランダや公園に行き、皆で戸外給食を楽しむこともしています（コロナ禍以前）。また、献立は旬の食材、季節ごとの年中行事、和・洋・中のバランスなどを考慮したものを使用し、給食・おやつは手作りにこだわっています。栄養士が毎日給食の時間に保育に入り、子どもたちの様子を丁寧に見えています。毎月の誕生会では栄養士が食べ物に関する紙芝居やクイズを出しています。

3)保護者支援

職員は保護者が安心して子育てができるように支援をしています。連絡帳の内容や送迎

時の表情などから、保護者の悩みや疲れをキャッチできるように、常に心がけています。普段から積極的に保護者に声をかけ、要望がなくても落ち着ける場で話を聞いています。一番身近な相談役として育児や仕事などの悩みにじっくりと耳を傾け、時間をかけて対話を重ねています。懇談会では最初にアイスブレイクを行い、話しやすい雰囲気を作っているほか、子どもたちの成長やクラスの様子について、保育中の写真を見せながら伝えたり、育児の悩みを皆で共有する貴重な時間にしたりしています。

◇改善を求められる点

1)業務の標準化

マニュアルに基づいた個々の対応ができるよう園内研修や訓練を行っています。園長が現場に入って指示を出し、職員同士で確認し合っていますが文書化されていません。今後、保育業務について基本的手順などを文書化することが望まれます。会議やコミュニケーションのあり方も含めて、業務の標準化につなげていくことが期待されます。

2)中長期計画の策定

事業経営を取り巻く環境と経営状況の的確な把握・分析の継続をする中で、中長期的なビジョンを明確にした中長期計画及び収支計画の策定が期待されます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

開園して以来、初めて第三者評価を受審させて頂き、運営や保育内容に関して振り返り、現状や具体的な課題が見つかるよい機会となりました。引き続き評価に基づいた話し合いや学び合いの時間を職員で作り、保育の質の向上に向けた取り組みを行っていきたいです。

合わせて働きやすい職場作りに向けて職員の就業状況を把握し、具体的な取り組みを検討し、体制を整えていきたいと思います。

保護者アンケートでは多くの方に肯定的なご意見も頂けたことに感謝の思いでいっぱいです。

これからも、子ども達一人ひとりを大切に、子ども達が健やかに成長して、保護者の方に安心して頂き、地域に愛される保育園を目指して今後も努力していきたいと思います。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり